



ARIDA 2000

07-08年度 RIテーマ

Club Bulletin No. 364

会 長	森下	常一
幹 事	太田	善雄
クラブ会報	吉水	志朗
委員		

本日のプログラム

平成19年10月24日(水) 第365回
 ・スポーツ例会(ボウリング)
 (於:ピーコック / トークランドボウル)

次回のお知らせ

平成19年10月31日(水) 第366回
 ・卓 話: RI2640地区世界社会奉仕委員 寺下 卓 様
 ・ソング: 「我等の生業」

職業奉仕・米山月間

例会日 / 毎週水曜日 19:00
 事務局・例会場 / 〒643-0025 有田郡有田川町土生409
 吉備インターゴルフセンター
 TEL・FAX / 0737-52-8960
 E-mail / arida2kr@star.ocn.ne.jp
 URL / http://www16.ocn.ne.jp/~arida2kr/
 創立年月日 / 2000年 4月12日

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

前回の報告(第364回例会)

平原祥彰ガバナー公式訪問

開催日 平成19年10月17日(水)

点 鐘 森下会長

ソング 「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト: 国際ロータリー第2640地区
 ガバナー 平原 祥彰 君(粉河RC)
 ガバナー補佐 井脇 雅和 君(有田RC)
 副代表幹事 金田 光央 君(粉河RC)



ビジター:

大崎 敏明 君
 (有田南RC)



会長の時間 (森下 常一君)

皆様、今晚は。本日は、RI第2640地区平原祥彰ガバナーをお迎えしての公式訪問例会であります。平原ガバナー、井脇ガバナー補佐、金田地区副代表幹事様、本日は当クラブへお越し頂きまして誠に有難うございます。また、井脇ガバナー補佐様には、クラブ協議会から御指導頂き感

謝申し上げます。例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクトとの懇談を開催し、クラブ運営等に関し御指導・御助言を賜りました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



さて、新しい年度に入って、早くも3カ月が過ぎようとしています。今年度のウィルキンソンRI会長のテーマは「ROTARY SHARES / ロータリーは分かち合いの心」です。このテーマに向けてクラブ活動を行っています。しかし、このテーマを実践することは、なかなか容易なことではありません。今後、御指導を仰ぎながら地道にコツコツと頑張っていきたいと思っています。

ここ数年、ガバナー公式訪問の時は、有田3RC合同公式訪問例会でありましたが、単独で当クラブに訪問して頂いたのは、中島パストガバナー以来であります。本日、経験の乏しい我弱小クラブに平原ガバナーが来られるという事で、会員一同胸をときめかせてお待ちしております。後程、ガバナーアドレスを頂戴することを楽しみにしております。

現在、当クラブは、例会に力点をいたクラブ奉仕活動を中心に行っています。今後、クラブにおいて組織の簡素化・会員増強・退会防止あるいは、会計等において色々検討していかねばならないと考えています。

平原ガバナーにおかれましては、井脇ガバナー補佐と共に我々のクラブに、より一層の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い致しまして、会長の時間とさせていただきます。本日は有難うございました。

幹事報告 (太田 善雄 君)

報告事項

1. ガバナーエレクト事務所より、
事務所開設案内
2008 - 09年度会長・幹事住所録について
2008 - 09年度のクラブ行事(周年記念式典、記念例会、その他)届出お願い
2. 和歌山アゼリアRCより、
紀の女会開催案内
3. 10/24(水)スポーツ
例会の出欠表(回覧)
例会変更
和歌山北・那智勝浦
各RC(掲示)



委員会報告

・職業奉仕委員会(下林 委員長)

10月は職業奉仕月間です。この期間に職場見学をと思っていました。相手先を選定して申し込みをしたところ工場のラインが現在ストップ状態で、動き出してからにしてほしいとの連絡があり、見学も後日に延期したいと思います。



・ロータリー財団委員会(岩本 委員長)

ロータリー財団ポールハリスフェロー表彰
森下常一 君、
石田 稔 君 以上2名
平原ガバナーより、授与
よろしくお願い致します。



ニコニコ箱報告 (吉水 志朗 君)

森下常一君：平原ガバナー様、井脇ガバナー補佐様、金田地区副代表幹事様、本日出で頂き有難うございます。
太田善雄君：平原ガバナー様、井脇ガバナー補佐様、金田副代表幹事様、ようこそお越ししました。本日はよろしくお願い致します。

佐藤栄志君：RI2640地区ガバナー平原祥彰様、ガバナー補佐井脇雅和様、副代表幹事金田光央様、本日はお世話になります。

坂井佐千子君：平原ガバナー様、井脇ガバナー補佐様、金田副代表幹事様、本日は遠いところお越し下さいまして有難うございます。

上田益稔君：平原ガバナー様、本日はお越し頂き有難うございます。井脇ガバナー補佐様、金田副代表幹事様、お世話になります。

川島信治君：平原ガバナー様、井脇ガバナー補佐様、金田副代表幹事様、本日はお世話になります。

下林善信君：平原ガバナー、並びに井脇ガバナー補佐、金田副代表幹事、本日は御苦労様です。

家本欣明君：平原ガバナー様、本日は有難うございます。皆さん、100%出席頑張りましょう。

須佐見勉君：平原ガバナー、井脇ガバナー補佐、金田副代表幹事様、本日の公式訪問御苦労様です。

中野恵子君：平原ガバナー様、本日はお出で頂き有難うございます。

前任君：平原ガバナー様はじめ地区役員の皆様、ようこそお越し下さいました。先日、近大農場の佐々木様より頂きましたマンゴーをクラブへ届けました。

吉水志朗君：本日は平原ガバナー有難うございます。よろしく申し上げます。

出席報告 (佐藤 栄志 君)

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	20名	15名	75.00%
10/3	20名	16名	80.00%

ガバナーアドレス

国際ロータリー第2640地区

07 - 08年度ガバナー 平原 祥彰 君

今年のRIテーマは、「ROTARY SHARES ~ロータリーは分かち合いの心~」です。ロータリーマジックといって、ポリオプラスへの取り組みは、1985年から20億人の子供、1,000万人のボランティアが700万人の不具を防ぎ、200万人の命を助けています。結果、世界でポリオの症例件数は99%減少してきました。

『ROTARY SHARES』とは、不要になった物を分け与えるのではなく、己の身を捨てて他人のお役に立つこと。つまり、時間・技能・知識・お金、これら自身が持っているものを必要としている他人に分け与えること。人類愛に基づいたロータリー哲学、存在感を持ち、倫理の教訓を分かち合うこと。その結果、我々自身もロータリーからの贈り物を受け取ることが出来るのです。

ロータリアンとしてクラブの活動、企画に参加することは人生道場への参加です。自ら進んで挑戦することによる成果だと思えます。



会長の強調事項として、水保全・識字率向上・保健と飢餓・ロータリー家族の4つを継続して示されました。3年、4年と継続して強調されると云うことは、それだけ主要でさし迫ったテーマと考えられているからです。2640地区では世界社会奉仕委員会の活動として、強調事項の重点奉仕のプロジェクトとして、多くのプログラムを実践しようと活動を続けています。

地区として、この活動をさらに押し進め拡充すべきであると考えております。身の丈にあった奉仕こそ、クラブ活性化の第一歩ではないでしょうか。“チャレンジすることで先が見えてくる”強調事項の各々について説明することは他にゆずりたいと思いますが、大切なことは、強調事項がよく分かっている事が重要ではなく、それよりも行動実践する為にこそ理解が必要なのであります。

よく“私は長年ロータリーに在籍しているので、ロータリーの理論、プロジェクト、仕組等々よくわかっているのですよ”と云う声を聞きます。私は、だからその経験や知識を活かして若い人や経験の少ない人をリードして、奉仕活動を成功に導くことに活かしてこそ長く在籍している値打が出てくるのだと考えています。経験豊かなロータリーのメンバーは我々の宝です。後輩の指導に是非活かして、活躍していただくことを期待します。奉仕のプロジェクトの決める時、最も必要とされていることは何か、最も必要とされているところはどの地域か、我々の奉仕が最も活かされるやり方はどれか、最大の効果を生み出すため、ニーズを確実にキャッチする能力と努力が求められます。我々は無限の力を持っている訳ではありませんから。

次に、RI会長賞についてであります。地区内クラブの半数以上が受賞するよう申請を出すことを目標にクラブリーダーに推めたいと考えています。クラブに対し詳細を連絡していますので、是非そのようにとり組んで頂きたいと思っております。

地区独自でも功績を讃えるべき活動があれば、ガバナーとして表彰を考えるべきだと考えております。

次に地区の今年度の重点目標について

1. ロータリーを楽しもう
2. 地区大会を成功させよう
3. 世界大会に参加しよう

の3点を重点目標にしました。

1. ロータリーを楽しもう

- (ア) “分ち合いの心” “ROTARY SHARE”を学習しよう。テーマと強調事項を良く理解して奉仕活動の指針とすることが重要であると思っております。
- (イ) クラブの活性化を是非共すすめてほしいと思っております。組織の見直しや、楽しいクラブづくり、身の丈に合った奉仕のプロジェクト、クラブリーダーの交流、合同事業の実施等々です。
- (ウ) G・PG・AG・地区委員会等の支援を最大限活用してもらいたいと思っております。地区チームと名付けることにしました。
- (エ) ロータリー財団、米山奨学会のプログラムを強力に支援したいと思います。
- (オ) 公式訪問はクラブ単位を原則にして、ロータリーの夢と楽しさを語り合いたいと思っております。

又、各IMのテーマはホストクラブとPGでよく相談の上自由に決めてもらいたいと思っております。ロータリーの主役は各クラブです。このクラブ活動を支えるのがG、PG、AG、地区委員会です。地区のチームとして強力にクラブの支援をしたいと思っております。この地区チームは月1回程度会議を開き、地区やクラブにとっての重要事項について協議をします。IM単位に組織されたグループ協議会を立ち上げます。この協議会はAGが中心となりIMに所属するクラブの会長、幹事、会長エレクトの集まりです。そのグループ協議会へ地区チームがアクセスします。出前もします。そしてクラブの活動を支援します。クラブの責任者と地区チームが直接協議すること議論することがもっとも効果的な会合であり、支援となると考えています。

2. 地区大会を成功させよう

(2008年4月12日～13日 和歌山市内)

地区大会は友との交流を深め、友情を確かめ、感銘する講演を聞き、おいしい食事をいただき、ロータリーの諸問題に関する討議を通じて綱領を実現する為に開催されます。“分ち合いの心”のテーマに基づき、ロータリークラブとロータリアンは活動します。地区大会に多数のロータリアンとロータリー家族にお集まりいただき、楽しい時を過ごしたいと思います。

3. 世界大会に参加しよう

第99回国際大会はロサンゼルスで開催されます。ロータリー最大の年次大会で、世界中から

ロータリアン、ロータリー家族、友人が集まります。楽しい時を過しましょう。R I国際大会での素晴らしさは、参加しなければ写真や言葉だけでは判りません。実際に現場に行って実感しましょう。I M単位で目標を立て結集しましょう。関西国際空港からジャンボ機をチャーターしてロスへ行きましょう。

閉会点鐘 **森下会長**

今週の例会食事 (*^ ^*)



昨年、当クラブ例会で卓話をお願いしました近畿大学付属農場の佐々木勝昭様からのマンゴーを、出席者全員で美味しくいただきました。

Rotary Japan Web より

2009-2010年度 国際ロータリー会長ノミネー決定



スコットランド、セントラルのグランジマウスロータリークラブに所属するジョン・ケニー氏が、2009 - 10年度R I（国際ロータリー）会長指名委員会により選出されました。対抗候補者がいない場合、12月1日をもってケニー氏が会長ノミネーとなります。

ケニー氏は地元の法学部学長、裁判官、公証人を務めた経歴の持ち主です。スカウト活動では、東欧における新しいスカウト・グループの結成に貢献し、その努力が認められて功労賞を受賞しています。スコットランド教会では長老の役目をはじめ、セッション・クラーク、長老会長老を務めてきました。ケニー氏はまた、女王エリザベス二世より地区の副知事に任命されました。フォースバレー青年商工会議所およびスコットランド青年商工会議所連盟では会長を、国際青年会議所では総弁護人を務めました。

1970年にロータリアンとなってからは、グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（R I B I）の会長と副会長を務めました。そのほか、R Iにおいては、理事、執行委員会委員長、ロータリー財団管理委員、研究会モデレーター、ガバナー、国際大会委員会副委員長、グループリーダー、会長代理、各種委員会委員長ならびに委員を歴任してきました。また、規定審議会には、代表議員、委員、議事運営手続の専門家として出席した経験があります。

ロータリー財団の大口寄付者ならびに遺贈友の会会員であるケニー氏は、功労表彰状と特別功労賞の受賞者でもあります。

指名委員会委員は、次の各氏です（敬称略）：レイ・クリングスミス（アメリカ、委員長）、G. ケネス・モーガン（アメリカ、幹事）、ジャック・ベルセ（フランス）、ジョンT. ブラウント（アメリカ）、ヒー・ピョン・チェ（韓国）、ゲルソン・ゴンサルベス（ブラジル）、アブラハム・ゴードン（アメリカ）、スシル・グプタ（インド）、リン A. ハモンド（アメリカ）、ラファエルG. ヘチャノバ氏（フィリピン）、板橋敏雄（日本）、ジョルマ・ランペン氏（フィンランド）、ジェラルド A. メイグス（アメリカ）、デビッド D. モーガン（ウェールズ）、中島治一郎（日本）、スタン・テンペラス（オランダ）、ルイス F. バレンズエラ（グアテマラ）。

（2007年9月14日 記事）